

生活支援コーディネーター・協議体の目的・役割等について

【生活支援コーディネーター】

1. 設置目的

市町村が定める活動区域ごとに、関係者のネットワークの既存や取組・組織等も活用しながら、資源開発、関係者のネットワーク化、地域の支援ニーズとサービス提供主体のマッチング等のコーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備にむけた取組を推進する。

2. 役割

A 資源の開発	地域の不足するサービスの創出 サービスの担い手の育成 元気な高齢者などが担い手として活動する場の確保 など
B ネットワークの構築	関係者間の情報共有 サービス提供主体間の連携の体制づくり など
C ニーズと取組のマッチング	地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動をマッチング など

【協議体】

1. 設置目的

多様な主体間の情報提供及び連携・協働によるサービスや資源の開発等を推進することを目的とする。

2. 役割

- コーディネーターの組織的な補完
- 地域ニーズの把握、情報の見える化の推進
- 企画、立案、方針策定を行う場
- 地域づくりにおける意識の統一を図る場
- 情報交換の場、働きかけの場